

科目ナンバー	SOC-B-2-03		
科目名	NPO入門/NPO論		
担当者	笠原 清志		
開講期	2021年度 秋学期	科目区分	週間授業
履修開始年次	1	単位数	2.0
曜日/時限	月曜2限	教室	
授業題目	NPO(Not for Profit Organization)と現代社会の企業の役割		
授業の達成目標	NOPIによる社会的問題の解決の可能性と限界を指摘できるようになる。「市場」でも「政府」でもない、現代の社会的問題解決の第3の道としてNPOの役割が期待される。日本のNPOに十分な専門知識や潤沢な資金がある訳ではない。NPOと民間企業の連携での実用的な問題解決に着目する。貧困、格差、疾病、障害、教育、福祉、環境等の問題解決手法として民間企業によるソーシャル・ビジネスの有効性を提案できるようにする。		
今年度の授業内容	NPOについての歴史的な理解と現状について解説します。それを踏まえ、貧困層への金融支援の方法としてのマイクロクレジットや社会問題解決のためのソーシャル・ビジネス・モデルを扱います。最終的には、受講者の問題関心に沿ったソーシャル・ビジネスのモデルを考えてもらいます。本授業の対象は、営利活動を行う民間企業の社会問題解決の継続的なビジネスの側面です。		
自習に関する一般的な指示事項	本授業の履修と学習のためには指定した参考書の読解が必要です。指定参考書の熟読と解題をレポート執筆のための予習・復習を課題とします。さらに、これまでの受講者のビジネス・モデルを参考に、社会問題解決のためのソーシャル・ビジネスの提案を行ってもらいます。		
授業スケジュール			
第1回	授業方針の説明：学籍番号の奇数は対面；偶数は遠隔		
第2回	NPOとは何か：阪神淡路大震災とNPO法の成立：学籍番号の偶数は対面；奇数は遠隔		
第3回	政府の失敗と市場の失敗(1)：第1の公共性としての政府・第2の公共性としての民間企業・第3の公共性としての純粋NPO：学籍番号の奇数は対面；偶数は遠隔		
第4回	政府の失敗と市場の失敗(2)：SDGsなどの新しい傾向：学籍番号の偶数は対面；奇数は遠隔		
第5回	貧困層への金融支援：グラミン銀行の場合：学籍番号の奇数は対面；偶数は遠隔		
第6回	貧困層への金融支援：BRAC(ハングラテシ農村向上委員会)：学籍番号の偶数は対面；奇数は遠隔		
第7回	「障害者雇用」と「障害者支援ビジネス」：継続的な支援活動事業のための営利活動：学籍番号の奇数は対面；偶数は遠隔		
第8回	「障害者雇用」とスワンペーカーの場合：学籍番号の偶数は対面；奇数は遠隔授業		
第9回	「葉っぱビジネス」：地方再生の「限界集落」への挑戦：学籍番号の奇数は対面；偶数は遠隔		
第10回	ソーシャル・ビジネスとは何か：ビジネス・モデルの紹介(1)：学籍番号の偶数は対面；奇数は遠隔		
第11回	ソーシャル・ビジネスとは何か：ビジネス・モデルの紹介(2)：学籍番号の奇数は対面；偶数は遠隔		
第12回	ソーシャル・ビジネスとは何か：ビジネス・モデルの紹介(3)：学籍番号の偶数は対面；奇数は遠隔		
第13回	まとめ：学籍番号の奇数は対面；偶数は遠隔		
第14回	月曜授業は1時限105分13回で実施		
第15回	月曜授業は1時限105分13回で実施		
授業の運営方法	対面授業を実施し、遠隔授業はTeamsでライブ配信します。学籍番号の奇数・偶数で交互に対面・遠隔授業とします(初回授業の前に履修生宛にTeamsの参加方法を伝えます)。また、トピックスに応じてプレゼンテーション・ソフトでの重要事項の視聴・読解があります。遠隔授業の質疑は本授業専用のEメール・アカウントで適宜行い、重要Q&Aは開示します。		
成績評価の方法 ※次の評価基準・割合に基づき評価されます。			
評価の種類	割合(%)	評価基準、評価方法	
定期試験	0	実施しない	
小論文・レポート	20	中間レポートの提出、詳細な執筆・提出要領は、ポータルサイトでの課題管理で扱い、ポータルサイトに提出	
授業参加	40	毎週提出のレポート、詳細な執筆・提出要領は、ポータルサイトでの課題管理で扱い、ポータルサイトに提出	
その他	40	ソーシャル・ビジネスについて、パワーポイントによるビジネス・モデルのプレゼンター	

	シヨンの作成・提出
テキスト	必要に応じて指定する。
参考文献	村上綱実著『非営利と営利の組織理論』旬文社2020年(本授業指定の参考書キンドル版)
関連ページ	
その他、履修生への注意事項	熱意とひた向きさがあり、困難に立ち向かって行く気概ある受講生の参加を期待します。困難な課題を克服してこそ、自己の成長と将来への道が拓かれます。
実務経験のある教員による授業科目(令和2年度から該当科目に記載されます)	
実務経験の概要	
実務経験と授業科目との関連性	